

第10回長南町小中一貫校設立委員会記録

1 日時 平成27年12月22日（火）15時30分～

2 場所 長南町保健センター（庁舎分館）2階 第2・3会議室

3 出席者委員：16／17名 教育委員会：4名

4 概要

（1）教育長あいさつ

（2）委員長あいさつ

（3）協議

【委員長】

それでは、ただいまより第10回の委員会を始めさせていただく。協議事項について事務局からお願いしたい。

【事務局】

（※説明資料は、第10回小中一貫校設立委員会資料を参照してください。）

こちらはすでに町のHPでも公開しているが、統合小学校の完成予想図である。契約した大和リースからあがってきた絵であり、ご覧のように統合小学校の校舎があり、中学校の管理棟は連絡通路でつなげ、小学校の遊具はこの場所に建設予定である。

これまでに多くの貴重な時間をいただき検討に検討を重ねてきた。他市町村の統合問題で、スクールバスはとっても大事であるという話を多数いただいている。子供達の安心・安全。体力の保持・増進を基本に置いて各地区分科会・全体会で進めてきた。スクールバスの話し合いがスタートする段階で確認したように、文部科学省から示された小学生の徒歩圏内は、学校まで4キロと示されている。4キロを超える場合は交通機関が必要となってくるが、バスに乗った場合でも、学校から60分以内で行き来できる距離が基準と文科省から示されている。次に、市町村で定めている徒歩通学の距離の基準については、先程も触れたが、文部科学省の示した基準値の4キロ圏内としている市町村が多い。次に多いのは、文部科学省で示している基準の半分である2キロ圏内としている市町村。子供達の安心・安全とともに体力の保持・増進とあったが、長い時間バスに揺られて学校に来た場

合、校門前の一定の距離で降車させ、徒歩の時間を確保。つまりは学校のすぐ近くではなく、わざと学校から遠ざけた場所にバスの発着所を設けて、学校までの距離は歩くという形をとっている学校が多いことが分かる。次に多いのは、降車後、軽い運動をさせるという内容だった。朝の適度な運動というのは、脳の活性化に役立つということが科学的にも証明されている。

歩いて2キロ圏内とはどの程度なのか、なかなか分かりにくい部分なので、地図を使い、2キロという場所にラインを引いたので確認いただきたい。まず坂本方面。利根里のバス停からは1.4キロ。大橋前のバス停からは2.2キロ。大橋前から歩くと2キロ圏内ではない。よって大橋前の路線バスのバス停があるが、それより手前となる。次に長南方面。長南郵便局までは1.2キロ、長南小学校から郵便局は0.8キロである。ほぼ長南小学校の手前は徒歩通学が可能な距離となる。小沢方面は、小沢の信号から統合校まで1.2キロ、工業団地入口のセブンのところから小沢の信号が0.4キロ。茗荷沢の信号から統合校までは1.9キロ。2キロ圏内というと、工業団地の入り口部分から、茗荷沢の信号の少し先回りとなる。

これまで現地調査を含め、各地区で検討いただいた経路について確認いただきたい。現在示しているのは東地区。小生田上で折り返して統合校まで行く。西地区は、トーヨーカントリー前を抜けて学校前から戻ってくる経路。長南地区は、笠森で折り返し学校に戻り、再度出発し、坂本方面、町中を走り統合校。豊栄方面は、豊栄の里で折り返し学校に行き拾って統合校という経路。この中に距離を示していく。緑が4キロ圏内、青が2キロ圏内、黄色が1.5キロ圏内である。2キロが基本となるが、示した距離は直線距離であるが、道はくねっている為、実際は1.5キロと2キロの間になると思う。現長南小学区・西小学区の通学距離が2キロ圏内である一部は、徒歩通学としていく。現東小学区・豊栄小学区は、全員バス通学としていく。

事務局案を考えたので、提案させていただく。まず長南地区について、違いは町中を一切通らない。下校時刻について、現段階で3便出そうと考えている。ある程度の時間内に戻ってこないで2便が出せない状況になる。発着所からスタートし8の字で回っていくと、子供の乗車時間も含め60分以内がかなり厳しいと考えた。そのため、坂本方面、笠森方面を拾い、町中を通らず戻ってくる経路を提案する。ここにも4キロ、2キロ、1.5キロ圏内を示した。現長南小学校から内側と、利根里と大橋前の中間から内側は徒歩通学にしたいと考えているため、徒歩通学圏内の町中はバスを通す必要はない。60分以内にバスが戻ってこないで、下校時の便数に影響する可能性が出るので、その点も含めてご検討いただきたい。続いて、西地区については、一番初めに提案があったように逆回りになってはどうか。跡地活用の関係で、これまで使用していた4小学校の敷地の中に集合することや、バスの乗り入れが困難になることが考えられる。町長から提案があり、具体的な話になっている。更に西小学校付近が非常に狭く、カーブも多く、停める場所がない。それを考えると逆方向の方がなんとかなるのではと考えた。校長先生が学校の周辺を細か

く見られているので、ご意見をいただき、逆方向も加味しながら検討していただきたい。こちら4キロ、2キロ、1.5キロ圏内を示した。茗荷沢の信号から内側と、工業団地入口セブンイレブンから内側は徒歩通学と判断したいと考えている。次は豊栄地区だが、学校の敷地内に立ち入れるかが難しく、更に非常に狭い道があり、入れないことはないが、日に何便も往復するのは非常に苦しいと考える。国道沿いでどこか停車可能な場所を考えていただけるとありがたい。

現在、予算の関係があり、バスの乗降場所の確保、整備について町長部局にも資料提出を行っている。写真のとおり、笠森の石屋さんの前と交差点脇にも、ある程度スペースがあるが、どちらかお借りできると転回所として使えるのではないかと考えており、今情報収集をしている。東地区に関わるところだが、フェンスをどかしたり、敷地内に入れたらいいなと考えている。豊栄地区は、右に寄せて停めるため、電柱の移設ができればいいなと思う。豊栄のJA倉庫だが、前に行ったら端の1つが壊されていた。ここがバスの発着所に使えないかと考えている。

今後の流れは、まもなくバスの確保について確定し、運行経路がはっきりしたらバス会社による運行時刻表案を作成してもらい、これらの資料を学校に提供し、PTAを始めとする保護者の皆さん、地域の皆さんの協力要請と移行していきたいと考えている。多くの点で、どうしても地域の方や保護者の方に見守りを中心とする安全に関する活動のお願い事が沢山あるので、そちらに時間を割いていきたい。

ここからは、その他現在取り組んでいることを紹介させていただく。記念誌について、4校を1冊にまとめる。こちらの発刊について、古い写真が沢山ある学校とない学校があるので、古い写真がお手元にあればお借りしたいとHPを使いながら現在募集をかけている。さらに、こだわりのフレーズについて以前お話をさせていただいたが、歌詞のごく一部について応募しており、先日締め切ったところ。小学生にも沢山応募いただき、結構な数が集まった。こちらの集計をし、実際に作詞・作曲に役立てていきたいと考えている。それから、4小学校の校章についてこちらに示したが、4校それぞれの思いがあるが、これを全部一緒にデザインすると非常に苦しいところがある。一貫型の学校で隣接していくので、長南中学校の校章に準じていったらどうか。長南中学校の校章を小学校に当てはめ、中を小にしていこうと考えている。またご意見をいただきたい。

校章・校歌・PTA・後援会についてすでに動き出している。それぞれの学校、校長レベル・教頭レベル・教務主任レベル・生徒主任レベルの4校の横つながり、更に中学を含め今示した内容について検討を進めているところ。

今後のスクールバス・統合校の概要については、年明けて3月までには取りまとめた。その後、メンバーの入れ替えも考えられるので、4月に資料・提案準備をし、5月には住民説明会に進めたらいいなと思う。各地区でスクールバスの経路、停留所について詳しく見ていただいているので、住民説明会に、設立委員会委員の皆様は是非全員出席していただきたい。バスについては、町長部局と話し合いを進めているが、大型2台、中型2

台の4台で確定した。バスを買うか借りるのかはまだはっきりしていないが、4台とも運行については、バス会社に全て任せ、運転はプロにお願いする。大型2台は、東小と豊栄小。長南小と西小については、中型に乗り切れる範囲内で拾って回るという形で考えている。

【委員長】

事務局から説明があったが、スクールバスに関係するところで質問があれば挙手をお願いしたい。

【委員】

事務局から提案があり、西小学区は逆経路ということでいくつか検討しているが、どの程度の安全基準で考えるのか。明確な説明は難しいが、学校の前に町の巡回バスは停まっている。ただ小学生が日常的に毎日必ず使うことと子供達が集まってくことを考えると基準としては使えないと判断してよろしいか。

【事務局】

そう思う。具体的に言ってしまうと申し訳ないが、向かい側にたぐち商店さんがある。お借りできれば寄せるのにちょうどよいと思っている。

【委員】

巡回バスは走っているが、その基準よりも安全面を考えていくのか。

【事務局】

相手は子供なので、そこは加味していただきたい。

【委員】

坂本方面の利根里は1.4キロだが、その間は人家ゼロ。子供を一人で歩かせるのか。まして山の中なので、大丈夫なのか。もう一つは、町中はバスが通らないということで、一斗原線を通学する感じになっているが、通勤・通学時間帯は車が走っている。スクールゾーンが設けられるのか。

【事務局】

貴重なご意見いただいたが、今現在で、平成29年4月スタート時、何学年の子供がどこに住んでいるか全部示してある。経路や乗降場所を確認いただくのに、最終的にご覧いただきたい。

答えとしては、基準として設けるので、山の中で一人ぼっちなのは困る。特例としても

ちろん認めていかざるをえない。その点は、いつも送迎している家庭もあると思うので、学校側に一度戻してからではないと把握できないが、あくまでも基準としてお伝えしたい。

【委員長】

その他何かあるか。スクールバス以外の全般として何かあるか。

【委員】

校舎の件で、以前の話では、地震があった時の黄色いラインだから校舎がずれたということだが、体育館は、町の体育館を使用するのか。

【事務局】

基本的には、中学校と共有できる範囲で、中学校の体育館をメインで使用したいと考えている。

【委員】

体育館は赤色だったので、どうなるのか心配だった。

【事務局】

赤色といっても今すぐ取り壊せということではない。警戒区域だが、壊した後建てられないという意味合いとなる。まるっきり使わないということは難しいと思うが、極力中学校の体育館を使用する方向で考えている。

～～地区毎に話し合い～～

【委員長】

では豊栄地区から発表をお願いします。

【豊栄地区】

豊栄地区に関しては、事務局からも話があったが、前回まで協議してきた豊栄小学校が乗降場所に使えなさそうということで、前回話をしたJAの農協倉庫前は屋根もあり、路線バスもバス停があるので、良いと思う。その他の変更箇所は特に必要ないと思う。ただ、一部事務局からも話があったが、岩川地区の通るルートで一部道路が狭いところがある。バスは通れなくはないが、すれ違うのは厳しい箇所がある。バスは通れるし、移動し

てしまうと乗降場所もまた調整しないといけない。子供達が待機して、安全に乗り降りできるのを優先したい。まずは原案どおりでやる。もしプロのドライバーから道路が狭いので変えてくれということであれば、調整したい。

【長南地区】

長南地区は、先程事務局が町中は通さない、2キロ圏内は通さないと言っていたが、長南の町中は非常に道幅が狭く、交通量も多い。大型車も通る。本日、都市計画審議会があり、その中でも発言したが、大型車を通すなどと言った。非常に町中は危険である。例え2キロ未満でも通して子供達を拾っていく。中学校から郵便局のところを通称、通学路一斗原線というが、道が狭く結構車が飛ばしている。ネックとなっている場所が他にも2、3点ある。先日監査の際に、一斗原線をなんとかしろと予算をとってもらったが、本日初めて一斗原線を小学生が通ることを聞いたので、もっと強く言ってカーブ等舗装しないといけないと思う。利根里で1人になる子供がいる。人家がないところなので、保護者との確認が必要だが、バスに乗せていくことが可能かどうかということと、防犯灯についても併せて検討していく。

防犯灯の話もあったが、街灯と防犯灯は違う。街灯は商工会管轄で防犯灯は防犯指導員管轄となる。子供達が危ないところはすぐ防犯灯を付けろということと言っていたので、町の総務課にここが危ないということを伝えてほしい。補正を取ってでも付けさせる。

【西地区】

事務局から逆回りはどうかという案があった。小学校跡地が使いなくなることが大きいと思うが、逆回りになると他の乗降場所に不都合があるため、元の案で回っていただきたい。跡地利用のために小学校が使えないということだが、基本的にそこが一番安全だと思う。跡地で活用するまでの期間はそこを使用したい。そこが無理な場合は、西小学校の熊野側に昔使われていた正門がある。今、巡回バスが使用している正門をそのまま使う、もしくは、もう少し西側に移動して昔の正門を使う。また、そこから少し歩くと歩道の広い場所が続いているので、乗降場所に良いかなと提案する。懸案事項となっていた郵便局は厳しいと事務局からあったので、そうすると、橙季さんの前の跡地かJAさんの活用、場合によっては嶋野商店さんの前のスペースを停留所として活用できればと考えた。それ以外に、ある程度事務局の方で経路を決定していくということだが、心配されるのは、防犯灯とは考え方が違うかもしれないが、バスの停留所が確定するとそれに向かって横断する子供が増える。緩やかなカーブがあり飛ばしている車が多いので、ここはさすがに渡らせるわけにはいかないという場所が出てくる。地区によっては、押しボタン式の信号を設置していただけたらありがたい。場所のチェックも同時にお願いしたい。

【東地区】

東地区は、事務局からも提案通りにご理解いただけたということで、特に異存はない。ただ、一部の子供がバス停まで行くにあたって、非常に暗い場所があるので、その辺に関しては、何か調整しながらやっていただきたい。バス停から離れている家庭もあるが、一定のバス停の設置をしたうえで、どちらにするか保護者の方に選択をしていただければ大きな問題はないかなと思う。

【委員長】

何か他に付け加える事等ないか。

【委員】

長南地区で言えば、8の字は遠回りということで一筆になったということだが、小回りで回ってもそんなに変わらないと思う。町内の子供を拾っていくというのが長南地区の考えだったので、少しずれたなと思った。

【委員長】

ひととおり話が終わったが、何か事務局からあるか。

【事務局】

事務局案ということで当初お話した中で、それぞれご検討いただいた。確定というわけではなく、事務局の方も相談しながら検討を進めていきたいと思う。先程長南地区からあったが、基本として当初から2キロというのは示していた部分である。全部の子供を乗せるというスタートではなかった。考えとしては町中の子供は拾わない。でないと、他の地区も平等にいかないと思う。すると長南町の全部の子供を乗せることになり、その辺は難しいと思う。

【委員】

それはおかしい。危険なところ、特に町中の狭いところを歩かせたら、とにかく今まで事故がなかったのは不思議なくらい。この間も大きい事故があり、6人もケガした人がいる。本日の都市計画審議会でも大型車の大きな事故があったと聞いた。たまたま人身事故ではなかったから良かった。ハンドルを間違えると長南町は逃げ場がない。例え1キロ2キロでも大きいカーブは沢山ある。そこを考慮し、長南町中は通させないとここで計画していくのは大間違い。対処していくのが正しいと思う。

【委員長】

運行経路以外の全般で何か質問・意見があれば挙手をお願いしたい。

【委員】

先ほど校章の話があったが、中学校に準じるということでもいいと思うが、校歌についても、やはり色々募集したりしているが、長南中学校に準じて考えていただきたい。そうすれば統一がとれる。改めて作詞・作曲したらかなりのお金がかかる。

【委員】

事務局からの説明の中で各小学校の跡地について話があったが、もう少し詳しく知りたい。

【事務局】

前回の議会の中で話があり、議員さんの中では新聞の記事にして流されている方もいるので、ある程度ここで触れさせていただく。全員協議会の中で町長自ら話があり、学校法人タイケン学園というところから11月半ばに話があったということで、4校を見て回る中で、4校すべてを無料でお借りしたいというような内容だった。その他、タイケン学園からはグラウンドを人工芝にしてほしいとか野球場を借りたい等様々条件がついている。そちらの詳細については差し控えたいと思う。町が持たないといけないお金も沢山あるが、是非4校一度に、中・高の一貫型の学校として運営するために借りたいということ。4校のうち1つは中学、2つは高校、3つめはインターナショナルハイスクール、4つめは寮に使用したいと聞いている。

【委員長】

他に何かあるか。

【委員】

体育館の話が先ほどあったが、小学生と中学生は同じ体育館で活動させると怪我させると困るので、分けるという話があったと思うが、今中学校の体育館だけだと使いきれないということで、町の体育館も使用すると言っていたが、極力中学校体育館を小学生も使うというのはなかなか難しいのではないかと考えていた。一切、小学校の部活や体育は町の体育館を使う予定はないのか。少しでも使うとしたら、町の体育館を少し改修はしないのか。

【事務局】

全てについて中学校の体育館に小学校が押し掛けるわけにはいかない。ただ、学級数がそんなに多くはないので、コマの組み方によって中学校の体育館をかなりの頻度で使える。先程の指摘のように部活動の問題があるので、使わざるを得ない。改修等については、今現在は考えていない。

【委員】

小学生が少しでも使うのであれば、手を加えないといけないのかとも思う。

【委員長】

他に何かあるか。なければ以上で終わりにする。